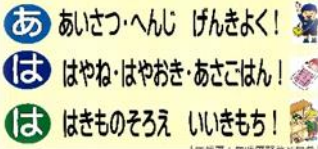


長崎っ子の約束 「あ・は・は」運動



羽白館

やればできる!

みんなの好きな楽しい学校



令和5年 9月26日
長崎市立深堀小学校
学校だより 78号
校長 桑原 重久

授業参観いかがでしたか…授業は大きく変わっています!

先週までに、すべての学級・学年の授業参観・懇談会が終わりました。
たくさん来ていただいてありがとうございました。子どもたちもとても張り切っていて可愛らしかったです。

授業を見ていただいていかがでしたか?

10年・20年前の授業と、今の授業はずいぶん違うなと思われたかと思います。
例えば、「先生の質問に対して分かった子や自信がある子が手を挙げ、発表する。すると、みんなが『わかりました』と拍手する。」という授業は一昔前の授業風景です。

大きな違いは「クロームブック」と「主体的・対話的な授業」です。

①「クロームブック」では、調べ学習や先行学習で、課題について、あらかじめ「自分の考えを持つ」ことができ、それが求められます。つまり、授業に臨む準備です。

また、「クロームブック」は学習内容の「確かめ」と「復習」にも効果的です。

「キュービナ」を使うことで、苦手克服のために、AIが子どもたち1人1人に最適な問題を用意してくれます。求めれば求めるだけ、問題が用意されます。

②「主体的・対話的な授業」は、簡単に言えば「みんなでより良い答えを追及する」授業です。教師は、場合によっては明確な正解のない「問い」を投げかけます。

そんな時に大切なのは、子どもたち1人1人が「自分の考えを持つ」ことができているか、です。さらに、その意見を多くの人と交換し合い、いろいろな考え方を柔軟に受け入れながら、全体にとって最適な答えを導き出す。という授業を行っています。

「宿題は終わったとね?」「明日の準備はできとっとね?」と、聞くだけでは、十分ではありません。質の良い家庭学習の「習慣」こそが一番大切です。

(厳しいようですが、あと一步の関わりが子どもの力(自信)を伸ばします!)

のうりよく さ ちいさい
能力の差は、小さい

どりよく さ おおきい
努力の差は、大きい

けいぞく さ おおきい
継続の差は、とても大きい

しゅうかん さ いちばんおおきい
習慣の差は、一番大きい

今、小学生の時期に大切なことは、よりよい「習慣」を身に付けさせることです。

保護者・地域の皆様と共に、この深堀の子どもたちに、自分の力で未来を切り開く力を身に付けさせたいのです。

